



ひらほく新聞

「ひらほく新聞」で検索！
ホームページ・ひらほくランド
<http://www.hirahoku.com/>
バックナンバー含め「ひらほく新聞」を
閲覧・ダウンロード可能です！

発行所 読売センター平塚北部(ひらほく)山本 直 〒254-0013 神奈川県平塚市田村9-4-32 電話 0463-54-2807

思えば招く

今月は以前もご紹介した植松電機専務取締役・植松努氏
を特集。作業服姿の男が淡々と語るスピーチ、昨秋公開し
た20分の講演動画はすでに再生130万回超。

民間で宇宙ロケットを開発している前代未聞の会社、植
松電機。たった17人の北海道の片田舎にある町工場にもか
かわらず、ロケット打ち上げには何度も成功、世界でも3
つしかない無重力装置がある日本で唯一の会社。それも売
つてないからと、手作りで作成。いまではJAXAも実験
にやってくるし、NASAの研究者も来るという。

2011年、植松努さんの
講演会を開催しようという熱
い方たちと出会い、翌年6月
神奈川・松田町にて実現。
事前には折込チラシも随分
広範囲に大量にお願いして告
知しましたが、そこからの反
響はイマイチ。講演後、植松
さんのお話。「活動を知らな
い人がチラシを見てほほとん
ど目がいかないと。講演
を聴いてくれたりして、行動
に移してくれている人の言葉
で伝えて誘ってほしい。今日
来てもらえなかった人にか
に来てもらおうか。どちらか
で、ぜひ聴いていただきたい
素晴らしい講演です。」

その2012年の夏、札幌
を訪れた機会に半日予定が空
いて、念願の赤平・植松電機
を訪ねてきました。微小重力
実験塔脇の3棟の工場と3つ
の大きなホール。その先には、
新しい社会の開発の夢へと繋
がる壮大な13万平方メートルの敷地
がありました。講演や実験体
験などの一日がかりの見学ツ
アーで大型バスが2台来てい
て、植松さんはホールにて講
演中とのこと。よろしければ



と作業中の社員、Iさんが、
忙しいなか時間を割いて、親
切に案内してくれました。
大学時代に植松さんの講演
を聴いて、文系なのに宇宙開
発の夢にスイッチが入り、本
州から移り住んで5年という
Iさん。熱く語るその瞳の輝
きは、まさに本物でした。植
松さんがいつも言われる『ど
うせ無理をなすす！』という
言葉も出てきました。素晴ら
しい青年との出会いに、感動
いっぱいひとときでした。
実はこの度、植松さんの講
演を主催した「糊つつべん」
さんより、3月23日、三重県
桑名市での1500人参加の
伝説の講演会のDVDをプレ
ゼントしていただきました。
一度聴くだけで人生が変わる
という、心深くに届く感動い
っぱいの講演内容から抜萃、
以下にご紹介します。

「思えば招く」

中学時代の母さんの教えで
す。思ったらその通りになる
よ、という意味です。仕事と
か、うまくいかない時に、い
かん、いかん、悪いこと思っ
たらそうなっちゃう！って、
考え直すためにこの言葉を思
い出します。

「ばあちゃんのお教え」

昔、権太で車の会社をして
いたばあちゃん。1945年、
ソビエト軍が侵攻してきて街
にたくさんのお金、多くの犠
牲者が出たなか逃げ延びて銀
行に行ってみたら、一生懸命
に貯めていたお金は全部紙く
ず。だから、小さい僕にこ
う教えてくれた。
「お金はくだらないよ。一晩
で価値が変わるからね。だか
ら、お金があつたら貯金なん
かしないで、本を買いなさい。
頭にしっかり入れなさい。そ
れは誰にも取られない。そし
て、新しいことを生み出す
よ。」「お金は自分の知恵と経
験になるように使ったら、貯
まり続けるよ。そして、ば
あちゃんのおかげで僕は本屋
が大好きな子どもになり、小
学生で運命の本に出会う。そ
れが「よく飛ぶ紙飛行機集」。
それからずっと、何かわから
ないことがあつたら、「困っ
た時は本屋へ」となった。

「本には人間の努力と命が詰まっている」

先人が命を懸けて記録を残
してくれた。「知ってる！」
だけじゃ雑学で終わる。人生
はクイズ番組でもテストでも
ない。世界は知らないことで
満ちあふれている。本を使っ
てもっと大切な役目がある。

昔の人がつけてくれた階段の
先に、さらに階段を付け足し
て登っていきこう。それが人類
の進化、僕らにできること。

「だつたらこうして見たら！」

失敗は、この言葉で未来へ
向かう階段の一段になる。何
かやってく時に失敗は許され
ないとは絶対に思わないこ
と。「成功率を高めるよう考
えよう」っていったら、でき
ることが山ほど出てきます。

「愛する我が子に求めるべきもの」

それは偏差値や成績など、
他者の評価ではなく、「この
子と一緒に仕事したいな」と
思える人にする(育てる)だ
けでいい。そのために、頼っ
てください、まかせてくださ
い、感謝してください。

「我慢の本当の意味」

我慢とは、諦めること、口
答えしないこと、望まないこ
と。は大間違い。なぜなら、
諦めたり、やめたりして良く
なる未来はありませんから。
本当の我慢とは、『どうすれ
ばできるか、考えること』。

「諦め方を教える人」

それは「やったことがない
人」。やったことがない人に
相談すると、できない理由を
教えられるだけ。やりたいこ
とは、それをやったことがあ
る人と仲良くなればできる！
そのために出会う人出会う
人、片っ端から『自分の「夢」
をどんどんしゃべろう！』。
分かってくれる人に出会える
までしゃべり続けよう。

「まずは本を読もう！」

分かってくれる人がいなくて
も「本」がある。本がすごい
のは「死んだ人と仲良くなれる」
ところ。仲良くなつたライト兄
弟は東大に行っていない。中学
の先生の言葉はウソだった。
東大生の教科書は、本屋や図書
館、どこにもある。習ってい
なくても、まずは本を読もう！

「諦めない生き方を」

本でなくても、漫画でもOK。
伝記も片っ端から読む。ドラマ
でも、映画でも、小説でも何で
もいい。その「諦めない生き方」
が、辛い最後の瞬間の独りぼつ
ちの絶望と死の淵から自分を救
つてくれる。

「大事なものは憧れ」

小さい頃の雑誌は素晴らしい
未来がいっぱい書いてあつた。
そして、大人たちはステキな未
来を見せてくれた。ところが今
は違う。今こそ、僕たちが未来
を考えるべきなんです。「憧れ」
は未来をよりよくするパワー
。「憧れ」をやめなければ、一生
成長できる。

「なぜ、『はやぶさ』が生まれたのか？」

日本の技術力だといわれてい
ますが、私は敗戦後アメリカに
飛行機開発禁止を言われても、
糸川英夫博士始め、決して諦め
ずやめなかつた人たちがいて、
奇跡を起こしたのだと思つた。
人生も同じ。誰かにやめなさ
い！無理だといわれて、ハイそ
うですか、といったら、自分の
人生は他人のものになる。でも
自分の人生は自分のもの。だか
らやめしないで自分の人生をつか
み続けてほしい。

「どうせ無理」

誰にも無限大の可能性があるか
ら、僕らの命はとも大切。人の
可能性を奪ってしまうから、人を
殺してはいけない。そして、言葉
で人の可能性を奪うことは、殺人
と同じ。努力は無駄だと教える最
悪の言葉、「どうせ無理」。

「児童虐待の少年の夢」

会社経営で精神的に酷く追い込
まれていた自分を神様が助けてく
れた。友達に誘われてボランティア
で訪問して出会った、児童虐待
で殺されるような経験をした施設
の子どもたち80人。知らない人に
触られるだけでパニックになるよ
うな子どもたちも、帰る頃には打
ち解けて、そこである少年に夢を
聞かされた。腕を折られて、目を
潰されても、その少年の夢は…、
「もう一度親と暮らすこと」。

「生まれてきた意味」

僕らは、言うことを聞くために、
諦めるために、生まれてきたんじ
やない。僕らは、知恵と工夫で世
界を救うために生まれてきた。世
界を救うのは簡単です。世界の全
ての人が「自分なんて」って思わ
なくなつたら、それだけで世界は
救われます。
過去は決して変えることはでき
ない。でも、未来はいまから、こ
こから変わる。みんなを変えてい
こう！
(終わり)

